

正誤表

『日本精神神経学会 専門医認定試験問題 解答と解説第3集〔第7回～第9回〕』、第7回問題 067 (p.47)において、抗精神病薬による Torsade de Points 誘発の危険因子についての出題に対して、選択肢 b の頻脈のみを誤っている因子として選択することが正解となっていますが、選択肢 d の高カリウム血症も危険因子として誤っており、危険因子であるのは低カリウム血症ではないかとの指摘がありました。

誤

第7回 問題 試験 067

抗精神病薬による Torsade de Pointes が誘発されやすくなる危険因子として誤っているのはどれか、1つ選べ。

- a. 高齢
- b. 頻脈
- c. 電解質異常
- d. 高カリウム血症
- e. QTc延長の家族歴

解答 b

正

第7回 問題 試験 067

抗精神病薬による Torsade de Pointes が誘発されやすくなる危険因子として誤っているのはどれか、2つ選べ。

- a. 高齢
- b. 頻脈
- c. 電解質異常
- d. 高カリウム血症
- e. QTc延長の家族歴

解答 b・d

本問作成の根拠となった、日本統合失調症学会監修：『統合失調症』 p.662 には Torsade de Points 誘発の危険因子として高カリウム血症が挙げられているのですが、『統合失調症』でこの部分の記載の根拠として挙げられている論文では、低カリウム血症が危険因子であると記載されています。(Gupta,A.,et al.:Current concepts in the mechanisms and management of drug-induced QT prolongation and torsade de pointes. Am Heart J, 153 (6); 891-899, 2007) また、日本の「遺伝性不整脈の診療に関するガイドライン」でも低カリウム血症が薬剤性を含む二次性 QT 延長症候群の危険因子として挙げられています。いずれにおいても、高カリウム血症は危険因子として挙げられていません。

以上より、第7回問題 067 (p.47) の選択肢は、上記の書籍から作問したため生じたものであることが判明しました。危険因子として誤っているのは b. 頻脈、d. 高カリウム血症の2つです。

以上、訂正いたします。